

26年10月、ごみ収集は有料化した

その結果を検証する

- 1、燃えるごみ、燃えないごみ、プラスチックごみは、**有料化し、市民の負担は増えた。**
- 2、戸別収集の実施、有料袋の調達販売など、**市の経費は大幅に増えた。**
- 3、集合住宅住民は、**ただ負担が増えただけ。メリットはない。**



市の財政に寄与したか ??

市民が負担した有料化は、大半が経費増で使われてしまう

有料化前(25年度予算)と後(28年度予算)を比較して分かったこと

| | | |
|---------------------------------|-----------------|------------------|
| 1、ごみ有料化による市の収入増 | (市民の負担増、予想より多い) | 2億2700万円 |
| 2、ところがその殆どが業者への支払いなどの経費に使われてしまう | | (経費増加額) |
| ① 有料ごみ袋調達管理委託経費の増額 | (商工会などへ支払う) | 6200万円 |
| ② 有料ゴミ袋の販売手数料増額 | (販売店へ支払う) | 2320万円 |
| ③ 戸別収集等収集経費の増額 | (ごみ収集会社へ支払う) | 8200万円 |
| ④ ペットボトル中間処理委託経費等増額 | (処理業者へ支払う) | 1100万円 |
| ⑤ ごみ資源分別ガイド印刷・宅配等経費 増額 | | 620万円 |
| ⑥ 不法投棄防止巡回委託経費増額 | (巡回業者へ支払う) | 840万円 |
| | (経費増合計) | 約1億9300万円 |

このほか、焼却処理の組合負担金の増が、3900万円ある。

なお、経費の増加には、消費税値上げの影響もあると思われる。

ごみは、減ったか? 街はきれいになったか??

有料化後にごみは減ったか 「ごみ量推移グラフ」をご覧ください。